

とっくりがま



発行：放送大学山口学習センター 2022年4月発行 第98号

— 目次 —

■『所長退任挨拶』	山口学習センター所長 岡村 康夫	1
■『お世話になりました』	山口学習センター客員教員 塩田 正俊	2
■『客員教授として学んだこと』	山口学習センター客員教員 坪郷 英彦	3
■『教え教えられる放送大学』	山口学習センター客員教員 春日 由美	4
■修了生・卒業生のメッセージ		5
■事務室からのお知らせ		10
■4月～6月のスケジュール		19



< 機関紙「とっくりがま」の由来 >

明治14年、小野田セメント製造会社（現・太平洋セメント株式会社）が創立され、明治16年から焼成炉4基の窯によって生産が始まりました。高さ9.6m、煉瓦を積み上げて作った立窯で、徳利に似ていることから「徳利窯」と呼ばれるようになりました。日本近代の洋式セメント製造法を伝える唯一の遺構で、重要文化財に指定されています。

山口学習センターが生涯学習の中核として、ますます発展することを願い、この「徳利窯」にあやかり、機関紙名を『とっくりがま』と命名しました。

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、スケジュール等変更となる場合があります。変更が生じた場合は、山口学習センターのウェブサイトに掲載しますのでご確認ください。



〒753-0841 山口市吉田 1677-1
(山口大学吉田キャンパス学生会館 1F)

T E L : 083-928-2501

F A X : 083-928-2503

E - m a i l : yamasc35@ouj.ac.jp

ウェブサイト: <https://www.sc.ouj.ac.jp/center/yamaguchi/>



学習センターの利用時間

◆ 9:30～17:00

2022年4～6月の閉所日

◆ 毎週月曜日、祝日

◆ 特別閉所日: 4月30日(土)

5月1日(日)

『所長退任挨拶』

山口学習センター所長 岡村康夫



放送大学山口学習センターの学生のみなさまへ退任の挨拶をさせていただきます。私は2017年4月より5年間に亘り所長を務めさせていただきました。本年度3月をもちまして退任します。この間、それまでの教育現場とは違うところに立たせて頂き、戸惑うところもありましたが、そのなかで数々の有意義な経験もさせていただきました。

所長の責務は、センターの管理・運営はもちろんですが、特に①放送大学の認知度を高めること、②センターに属する学生さんの「学び」の支援をすることと考え、取り組んで参りました。

①に関しましては、センター内での公開講座の開催や、さらには県内の施設・機関を訪れ、連携事業の呼びかけ等をしてきました。

②に関しましては、センターを訪れる学生さんを中心に学習相談に乗り、「学び」の支援をしてきました。具体的には、大学院入試のための英語演習や Zoom を使った哲学演習等を実施して参りました。ただ、みなさまへの十分な支援を果たせたとは思っていません。

さて、現在はコロナ禍という騒動に、日本のみならず、世界中が振り回されています。こういう時にこそ、「学ぶ」意義が問われます。究極的には、氾濫する情報に惑わされることなく、自分の足元を見極め、日々を大切に生きることに「学び」の意義はあります。これからもこのことを忘れず、学び続けて頂きたいと思います。

最後になりましたが、みなさんのご健康と今後一層の「学び」の深化徹底を願って、センター就任中のお礼に代えさせていただきます。ありがとうございました。

2022年3月



岡村康夫

『お世話になりました』

山口学習センター客員教員 塩田 正俊



5年間大変お世話になりました。放送大学に勤務し始めたときは、これまでの大学と勝手が違い戸惑うことばかりでした。最初は運動の話をすればいいかと思っていましたが、コロナ禍の中では、免疫に関わる運動の情報が必要かと、この3年間は日々新しい情報の獲得に努めました。これまでの運動の仕組みとは異なる視点で、新しい運動のとらえ方を考える機会となりました。しかし、新型コロナ感染禍でなかなか皆さんとお話することもできず、公開講座も中止となり悶々とした日々でした。

今思うのは、やはり「運動（身体活動）」と「食事（栄養）」、そして「睡眠」を十分に規則正しくとることが重要かと思えます。食事は比較的朝・昼・夕と規則正しく摂れるのですが、食事の摂取量と栄養素の摂取を含めて考える必要があります。睡眠は疲労物質など老廃物を除去するために、十分な睡眠時間（1日7～8時間）と深い睡眠深度（睡眠の質）を得るためには規則正しい就寝・起床時間を守ることが必要です。アルツハイマー病の原因物質とされるアミロイドβは、睡眠の質が低いほど脳内蓄積が多いことが明らかになっています。

そして、最も実行しにくいとされる運動（身体活動）は、運動を実践することで身体の仕組みが変化し、呼吸・心循環機能・免疫機能をはじめ多くの機能が改善され、健康作りに役立ちます。ただ、これは実践しなければ改善されません。もし、運動量（身体活動量）が減少すればこれらの機能も低下します。

運動（身体活動）を行うと、運動時の血漿ADHが上昇し、腎での水の再吸収を促し水分貯留に働くとともに、レニン・アンジオテンシン・アルドステロン（RAA）系も働き、水・Na貯留、血圧上昇に働きます。この時、アンジオテンシンはアンジオテンシン変換酵素（ACE）という酵素によって、アンジオテンシン（Ang I）から最強の血圧上昇物質であるアンジオテンシンII（Ang II）に変換されます。これが副腎に作用しアルドステロン（Ald）を分泌させます。これらの働きは運動時の体液量保持、特に暑いときの発汗による体温調節のためには重要な働きとなります。

しかし一方で、身体不活動ではACEにより生じるAng IIがAT1受容体に作用し、血管収縮、線維化促進および炎症促進作用などを発揮することが知られています。これとは逆に、運動（身体活動）はACE2を増加させますが、このACE2はAng IIをAng（1-7）に変換し、そのAng（1-7）はMas受容体（MasR）に作用し、強力な血管拡張、抗アポトーシスおよび抗増殖作用などを促進します。さらに定期的な運動の実践は免疫グロブリンである分泌型IgAを増加させ、口腔（唾液）、腸管免疫の防御力を増強させます。これが運動実践の効果です。この運動実践の効果は、新型コロナ感染と免疫を調べていたことにより明確になってきました。このACE2は新型コロナウイルスと結合し感染を誘導します。ACE2を増加させる運動（身体活動）はこの時期行っているかどうかは迷ったところですが、運動（身体活動）をしている者では新型コロナ感染の危険因子レベルが低く、重症化、死の危険因子レベルも低くなるとの報告も出てきています。このコロナ禍の時期、定期的な運動（身体活動）実践は多くの身体機能を高め、また、身体不活動により引き起こされる生活習慣病を予防・改善するうえでも重要と思えます。

どうぞ皆さんも定期的な運動（身体活動）を実践され、健康にお過ごしください。これまで5年間、居心地よく活動させてくれた教職員の皆様に厚くお礼申し上げます。

『客員教授として学んだこと』

山口学習センター客員教員 坪郷 英彦



週1回コツコツと5年間放送大学に通い、いわば不特定多数の学生の皆さんと接し様々なことを伝え、また学びました。

初期には大学時代の企画、温泉地俵山での面接授業を再び行いました。交通の便などが心配され、事務職員の方にはヒヤヒヤの企画でしたが、夜は地元の方々との交流会も行われ、あたたかい授業ができました。東京からの再参加や下関から早朝のバスを乗り継いでの参加など、熱い学ぶ気持ちが伝わりました。

月1回の公開講座は5年間「山口県史民俗編を読む」のテーマで続けました。繰り返し県史民俗編を読む中で、新しい発見も出てきました。「イチノトナリ」の言葉や女性の働き、米作りの象徴的な意味など住居民具の専門としては気づけなかった暮らしの民俗です。それは、民俗が過去の事実を伝えるだけではなく、人間の、あるいは日本の暮らしの基層をなし、今も生きていることを示しています。文化の視点がますます重要になっていることを体感しています。

2年ほど前から新企画で始まった自主ゼミはコロナが広がる中で遠隔授業に移行しました。私の掲げたテーマは「フィールドワーク入門KJ法で考えをまとめてみよう」で、対面してカードを並べながらまとめていく方法なので遠隔になじまないものでした。試行錯誤の末、事務職員さんの協力で遠隔KJ法が完成しました。参加者の植村さんは地元の祭礼行事等活性化のマップを作りました。島田さんは地元自治会のゴミ当番の経験から、ゴミ処理の問題点マップを作りました。村岡さんは大学院進学の研究計画マップを作成しました。社会科学分野以外の学生さんにはなぜこんなことをやっているのかといぶかる人もいるでしょうが、グループのその場での意見をまとめていくことは、考えの全体と位置の地図を知ることになります。Zoomの形式でしたが課題の地図づくりを体験された方は今後いろいろな問題解決の場面で使えると思います。自主ゼミの開始前にも、社会系大学院生2名が研究の進め方についてアドバイスを受けに来られ、いずれも膨大な調査資料をお持ちで、KJ法で考え方の整理をしました。

コロナ禍で、面接授業、公開講座が中止になり、新しい学びの状況となりました。放送大学のインターネット授業は時代の先端をいく学びといえましょう。さらにZoomの双方向体制が開放的に整備されると、より地域・学生間に開かれた大学になると思います。

どうも長い間ありがとうございました。



私は2018年4月に宮崎県から山口県に異動し、翌年の2019年4月からの3年間、山口学習センターに客員准教授としてお世話になりました。

初めの1年は、ふらっと相談室を訪れる学生さんのお話を聴いたり、月1回のゼミでは、世代や立場の違う学生さん達と意見を交わしました。まだ山口に来て間もない私にとって、山口での繋がりが生まれたようにも感じられ、楽しい時間でした。

2年目から新型コロナウイルス感染症対策のため、対面で学生の皆さんとお会いすることが難しくなり、相談室を訪れる学生の方はほとんどおられませんでしたが、オンラインでのゼミでは、PCやスマートフォンを通して、多様な意見が交わされたり、互いに共感があったり、励まし合ったりしました。オンラインの利点はやはり、普段、山口市にある山口学習センターから遠くにお住いの方も、参加できることだと思います。

また、月1回の公開講座では、多様な世代や経験をお持ちの方が参加され、人生経験を踏まえたお話が聴けたり、多様な方同士の交流が生まれたように思います。参加者された方にも、私自身にも、刺激的な時間であったと思います。なお、私は心理学の中でも臨床心理学や生涯発達心理学が専門になりますが、公開講座ではあまり深い専門のお話はせず、できるだけ身近な、日常で役に立つかもしれないことをお伝えするようにしました。心理学の中でも特に臨床心理学は、一見分かりやすく、「簡単な」学問と思われやすいかもしれませんが、しかし実は人の生き死にも関わるため、中途半端にお伝えすべきでもない、またお伝え出来ない学問でもあると思います。「ここまで学べば大丈夫」というものでも決してなく、深く、深く、そして継続して学ぶ必要がある学問です。そして臨床の実践では、常に他者に対して真摯に、そして自分に厳しく向き合うことが求められます。放送大学でも臨床心理の資格に繋がるようなカリキュラムもあると思いますが、臨床心理学を専門としたいという方は、その覚悟を持って、学ばれる必要があると思います。

私は教員という立場ではありますが、放送大学で多様な経験や考えをお持ちの学生の方のお話をお聴きした時間は、私にとっての学びの時間でもあったと思います。子どもでも大人でも、学ぶことは、どちらか一方が学びを得たり、教えたりするものではなく、互いに何かの作用が起こるものだと思います。特に放送大学は多様な経験や背景をお持ちの方たちが集う大学です。学生の皆さんも、これからも授業やゼミ等での学生同士、そして教員との教え教えられる時間を大切にしていいただければと思います。

おめでとうございます

2021年度第2学期は、大学院2名の方が修了、教養学部42名の方が卒業されました。

■大学院

人間発達科学プログラム…1名

情報学プログラム…1名

■教養学部

生活と福祉コース…5名

心理と教育コース…19名

社会と産業コース…9名

人間と文化コース…5名

自然と環境コース…4名



修了生・卒業生のメッセージ



学びが、人生や研究の深まりにつながりました。今後も学び続けたいと思います。
ありがとうございました。

【情報学プログラム 60代】

5回目の卒業となりました。長い間、大変お世話になり、有難うございました。

【自然と環境コース 70代】

65歳を過ぎての入学でしたが、学ぶ喜びを得ることができました。ありがとうございました。

【自然と環境コース 60代】

興味のある科目で、さらに新たな興味を持ち、その結果、修了することができました。再々チャレンジしていきます。

【社会と産業コース 70代】



編入学してから、はや6年、ようやく卒業の日を迎えることができました。教養を深めることで私の視野は広がり、人生はより豊かになったと実感しています。これからも学び続けたいと思います。

【社会と産業コース 30代】

やっと大学を卒業できるのでうれしいです。

【心理と教育コース 30代】

コロナ禍での2年間、センターの方々には、単位取得のための相談にのって頂き、この度卒業することができました。学ぶ楽しさが習慣となり、これからも、学び続けていきたいと思えます。ありがとうございました。

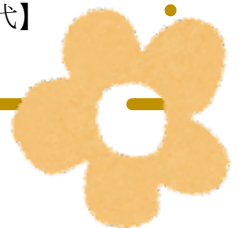
【心理と教育コース 60代】

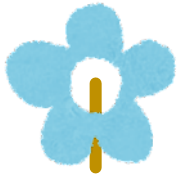
元々は仕事で必要であった経営と経済を科目履修する事だけが目的でしたが、仕事先の皆様や家族の助けをいただきながら、なんとか卒業できた事に本当に感謝しております。大学関係者の皆様方にも深くお礼申し上げます。

【社会と産業コース 50代】

退職後余生に、知る楽しみを思い、放送大学に学び、今に至りました。後一コースを残し八十路を越えた今、記憶力、理解力の衰えを認識し、学びを終える決心をいたしました。お世話になった大学の皆様にお礼申し上げます。今後は趣味の川柳を楽しむつもりです。

【心理と教育コース 80代】





コロナ禍での研究となりましたが、ゼミ生で励ましあいながら修了することが出来、うれしく思います。また学習センターで、試験勉強したことも思い出です。ありがとうございました。

【人間発達科学プログラム 50代】

通信教育で心理学を学ぼうと思い入学しましたが、放送授業や面接授業で様々なことを学ぶことができました。講師の先生方、山口学習センターの皆様、大変お世話になりました。ありがとうございました。

【心理と教育コース 60代】

3度目の卒業になりますが、ボケ防止で勉強しています。継続入学で、もう少し頑張ります。

【社会と産業コース 60代】

山口学習センターの皆様ありがとうございます。二度目の卒業です。放送大学で感銘を受けた科目は、以下、初歩からの数学（'12）、身近な統計（'12）、英文法 AtoZ（'13）、基礎看護学（'16）、認知心理学（'13）、安全・安心と地域マネジメント（'14）、『方丈記』と『徒然草』（'18）、データ構造とプログラミング（'13）、線型代数学（'17）以上

【人間と文化コース 70代】

楽しく学ぶことができました！！無事、4年で卒業できてよかったです！！

【心理と教育コース 20代】





令和3年10月1日ひさびさの再入学、一単位もとらずに卒業の案内、めでたくもあり、めでたくもなし。

【心理と教育コース 60代】

大学3年に編入し、2年半をかけてようやく卒業できることになりました。週末になると放送大学の勉強をしていたので、これからは少し週末がさみしくなりそうです。新しい知識に触れることができた2年半でした。ありがとうございました。

【生活と福祉コース 40代】



放送大学の学生として、博物館実習の講義を受講することができました。色々な社会経験を積んでいる放送大学生3人と若い大学4年生3人とが一つのグループとして、討論をしながら博物館学芸員としての必要なスキルを身につけていくというものでした。その中で、若い大学生は、新鮮な意見を持っていると知ることができました。

これは、貴重な体験でした。

【社会と産業コース 70代】

心理学を中心に学んでいます。まだまだ受講したい科目がたくさんあり、来期も継続入学して視野を広げていきたいと思っています。

【心理と教育コース 50代】

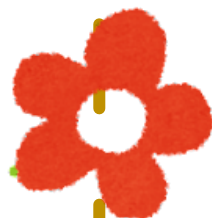
仕事との両立は、大変なこともありましたが、無事卒業を迎えることができ、達成感をかみしめています。学んだ知識は、今後の仕事に活かせそうです。

【心理と教育コース 50代】



放送大学に入学し、専門的なことを学ぶことの楽しさ、苦しさを感
じ、あっという間に卒業を迎えることとなりました。いつまでも学び
続けていきたいなと思います。

【心理と教育コース 50代】



広い視点で物事をとらえるきっかけになり、学びを深めることが
できました。

【心理と教育コース 40代】

今まで色々とお世話になりました。またチャンスがあれば、いろん
なことにチャレンジしていきたいです。

【社会と産業コース 20代】

面接授業での先生方の講義が楽しくもあり、時にはついていくの
がやっとだった日々も良き思い出です。年を重ねることの素晴らし
さを教えてくださった皆様にとっても感謝しています。ありがとう
ございました。

【心理と教育コース 50代】

楽しい孤独を感じながら勉強した2年間でした。卒業が決まった
時は2年間の苦しさを一瞬で吹き飛ばすほど嬉しかったです。

【人間と文化コース 40代】



事務室からのお知らせ

■ 新型コロナウイルス感染症の対応について (2022年3月20日現在) ■

重要

2022年度第1学期の新型コロナウイルス感染症の対応については、以下のとおりです。皆さまの感染リスクを最小限に抑えるため、また急激な感染を防止するためにご理解くださいますよう、よろしくお願いいたします。今後、新型コロナウイルス感染拡大状況に伴い変更等が生じた場合は、山口学習センターウェブサイトやシステム WAKABA の『学習センターからのお知らせ』に掲載しますので、ご確認ください。

◎ 山口学習センターの利用

- ・ 事務室窓口業務 9:30～17:00
- ・ 図書・視聴学習室 午前 (9:30～12:00) と午後 (13:00～16:00) のどちらかのみ利用です。
ヘッドホンは各自ご持参ください。
室内では、マスクの着用をお願いします。
座席番号札をご利用ください。

■ 地震・風水害等による臨時閉所について ■

警報発令地域	発令時刻	警報内容	閉所	備考
山口市	7:00	各特別警報 または 大雨、洪水、暴風、大雪 等のいずれか	14:00 まで閉所	開所後に発令の場合、状 況に応じて閉所
	13:00	上記警報発令中	終日閉所	

[詳細は、「山口学習センター利用の手引き」P2 をご参照ください。]

■ 2022年度第1学期単位認定試験について ■

重要

2022年度第1学期単位認定試験については、**Web 受験方式**にて実施いたします。

(「正多面体と素数(21)」、「日本美術史の近代とその外部(18)」、「量子化学(19)」については、郵送受験方式にて実施)

◆ 2022年度第1学期単位認定試験日程 ◆

- ・ Web 受験方式(試験期間) : 2022年7月15日(金) 9:00 ~ 7月26日(火) 17:00
- ・ 郵送受験方式(提出期限) : 2022年7月15日(金) ~ 7月26日(火) 《必着》

※2022年度第1学期単位認定試験前までに、Web 単位認定試験体験版を必ず操作しておいてください。

◆ Web 単位認定試験操作体験会のご案内 ◆

Web 単位認定試験の受験にむけて、パソコンの操作体験会を行います。

詳しくは、4月中旬以降ご案内いたしますのでご確認くださいませようよろしくお願いいたします。



■ システム WAKABA について ■

重要

システム WAKABA（放送大学教務情報システム）は、**大学からのお知らせ**をはじめ、**放送授業のインターネット配信、通信指導提出**等学習に関する情報を取得できます。

山口学習センターからの各種情報は随時キャンパスメール（学生番号@campus.ouj.ac.jp）に配信しています。また、Web 会議システム（Zoom）利用時の連絡手段は、キャンパスメールとなります。

システム WAKABA トップ画面

The screenshot shows the System WAKABA top page with several callouts highlighting key features:

- パスワードの変更はここをクリック！↓** (Password change button)
- ↑メールの送受信はここをクリック！** (Campus email button)
- お知らせ** (Notice section)
- Webの通信指導はここをクリック→** (Web communication guidance link)
- Web 単位認定試験はここをクリック→** (Web unit certification exam link)
- 放送授業の視聴はここをクリック→** (Broadcast class viewing link)
- 大学からのお知らせはここをクリック↓** (University notice link)
- 学内リンク** (Intra-university links section)
- Web通信指導** (Web communication guidance link)
- Web 単位認定試験** (Web unit certification exam link)
- 放送授業のインターネット配信** (Broadcast class internet streaming link)
- 学内連絡** (Intra-university communication link)
- スケジュール** (Schedule link)

◎ パスワードの変更について

システム WAKABA 等の不正利用を防ぐため、パスワードの変更をお願いいたします。

◇**入学生の方**…入学許可書が届いたら**必ず**パスワードを変更してください。

一定期間経過すると初期パスワードは使用できなくなります。

- * QR コード
- * <https://sso.ouj.ac.jp/webmtn/LoginServlet>
- * システム WAKABA ログイン後、トップ画面の「パスワード変更」のいずれかから変更操作を行ってください。



◇**在学生の方**…初期パスワードのまま変更されていない方はシステム WAKABA を利用できません。

利用を再開したい場合や**パスワードを忘れてしまった場合**は、


- * 山口学習センターへ**来所**（対面のみ対応）
 - * 学生サポートセンターへ**電話**（TEL：043-276-5111）
 - * 教務課教務係へ**メール**（e-mail：kyomuka@ouj.ac.jp）
- のいずれかの方法でご連絡ください。

本人確認の上、**初期パスワード**に設定いたしますので、速やかにシステム WAKABA にログインの上、パスワードの変更を行ってください。なお、**翌朝 6 時**までにパスワードを変更しなかった場合、再度システムが利用できなくなりますのでご注意ください。

◎ キャンパスメールの自動転送について

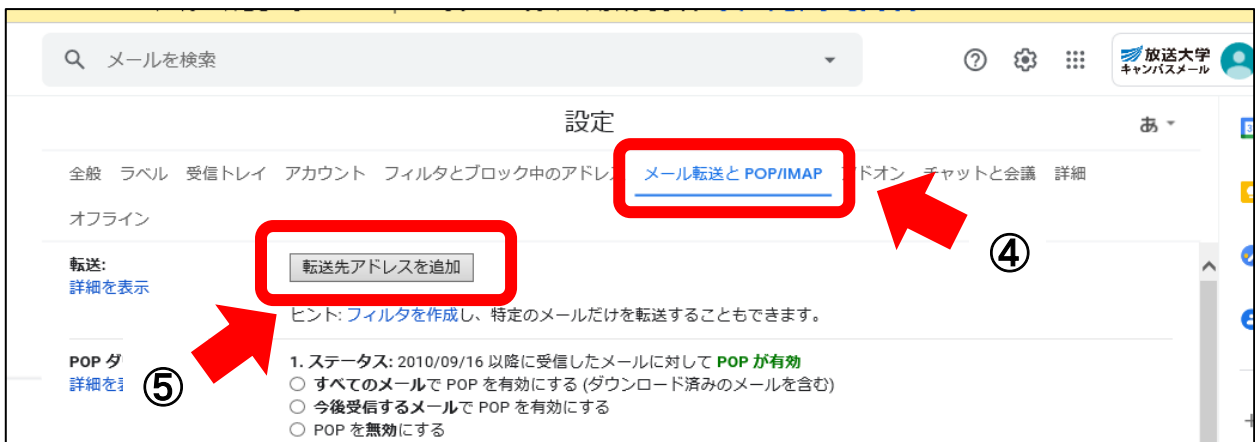
キャンパスメールに届いたメールを、普段ご利用の携帯メールアドレス等へ自動転送することができます。

<自動転送設定方法>

- ① キャンパスメールを開く
- ② 「設定」  をクリックする



- ③ 「すべての設定を表示」
- ④ 「メール転送と POP/IMAP」
- ⑤ 「転送先アドレスを追加」



- ⑥ 転送先のメールアドレスを入力して「次へ」
- ⑦ 「続行」
- ⑧ 「OK」
- ⑨ 転送の確認メール（転送先のメールアドレスに届きます）に記載されている「確認コード」を「メール転送と POP/IMAP」の欄の「確認コード」に入力し、「確認」をクリックする
- ⑩ 「転送を無効にする」が選択された状態になっていますので、**「受信メールを***@***.***.***に転送して…」を選択**
- ⑪ 「変更を保存」

〔詳細は、システム WAKABA→キャンパスライフ→附属施設・情報システム→「放送大学学生メールの自動転送設定方法」をご参照ください。〕

■ 通信指導について ■

通信指導問題は必ず提出期間内に放送大学本部に到着するように提出してください。通信指導問題の答案を提出し、合格しないと単位認定試験を受験することができません。

◎ 問題の送付時期

通信指導問題は、印刷教材と一緒に送付されます。(一部の科目については別に送付する場合があります。) **5月6日(金)**までにお手元に届かない場合は、大学本部 (TEL:043-276-5111) にご連絡ください。

◎ 提出方法

郵送によるもののほか、インターネット上で通信指導問題の提出・解説の閲覧ができる「Web 通信指導」があります。「Web 通信指導」で通信指導問題の提出(送信)を行った場合には、郵送は不要です。 詳細については、システム WAKABA「キャンパスライフ→学習案内」をご覧ください。

◎ 提出期間

郵送による提出	5月16日(月)～5月31日(火) 本部必着
Web 通信指導による提出 (一部科目を除く)	5月9日(月)10:00～5月31日(火)17:00 ※利用するパソコン及びネットワーク環境に起因するトラブルにより提出が間に合わなかった場合でも、未提出扱いとなりますので、余裕をもって提出(送信)してください。

[詳細は、「学生生活の葉」学部 P64～P68、大学院 P63～P67 をご参照ください。]

■ 学生証について ■

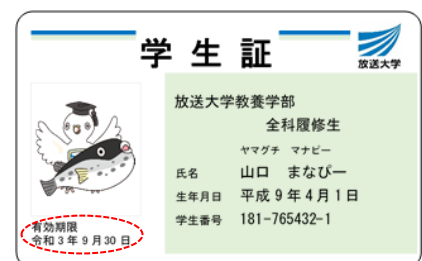
学生証は、図書・視聴学習室の利用、面接授業の追加登録等で必要となります。以下の方は、学習センター窓口で学生証の交付を受けてください。

入学生の方	『入学許可書』・『旧学生証(継続入学生)』をお持ちください。本人確認のうえ、学生証をお渡しします。継続入学の方は新しい学生証と交換します。
在学生の方	『有効期限の切れた学生証』をお持ちください。新しい学生証と交換します。

【注意】

顔写真が未登録の方は発行できませんので、**システム WAKABA で直接登録**または**写真票を大学本部学生課入学・履修係に郵送**(発行までに約2週間～3週間)で、手続きを行ってください。

有効期限をご確認ください!
令和4年3月31日またはそれ以前になっている場合は更新が必要です。



※氏名等の変更をした場合は学生証の再発行手続きを行ってください。(手数料:500円)

[詳細は、「学生生活の葉」学部 P18～P19、大学院 P24～P28 をご参照ください。]

■ 各種変更手続きについて ■

各種変更手続きにはそれぞれ提出期限があります。郵送またはシステム WAKABA で手続きをお願いします。様式は学生生活の葉の巻末にあります。システム WAKABA 「キャンパスライフ→各種届出・申請様式」からダウンロードも可能です。

手続内容	提出期限		提出先（郵送で提出する場合）			学生生活の葉		備考
	郵送	システム WAKABA	学部	修士選科生 修士科目生	修士全科生 博士全科生	学部	大学院	
所属コース・ 専攻変更 カリキュラム移行	2022 年度第 2 学期から変更		本部学生課 入学・履修係	-	-	P85	-	学期途中の変更はできません。
	4月20日(水)9:00~ 6月7日(火)24:00(必着)							
所属 学習センター 変更	2022 年度第 2 学期から変更		本部学生課 入学・履修係	-	本部教務課 大学院 研究指導係	P86	P80 P84	学期途中の変更はできません。
	4月20日(水)9:00~ 8月10日(水)24:00(必着)							
氏名等変更	在学中 随時 (変更後速やかに)		本部学生課 入学・履修係	本部教務課 大学院 研究指導係	P87	P81 P84	学生証の再発行手続きも行ってください。 (手数料：500 円)	
住所等変更	在学中 随時 (変更後速やかに)		山口 学習センター	本部学生課 入学・履修係	本部教務課 大学院 研究指導係	P87	P81 P85	最寄りの郵便局に『転居届』もご提出ください。
職業等変更	在学中 随時 (変更後速やかに)		本部学生課 入学・履修係	本部教務課 大学院 研究指導係	P88	P82 P85		
休学願 復学願 退学願	2022 年度第 2 学期から変更		本部学生課 入学・履修係	-	本部教務課 大学院 研究指導係	P89~P92	P87~P92	
	4月20日(水)~ 9月25日(日) (必着)	4月20日(水) 9:00~ 9月30日(金) 24:00						

■ 各種証明書の発行について ■

各種証明書の発行は山口学習センターで行っています。なお、発行に2週間程度かかる証明書（学部：様式10 大学院：様式9）もありますので、十分余裕を持ってご請求ください。

郵便で請求する場合は①～③を同封の上、山口学習センターへご送付ください。

①手数料分（1通につき200円）の郵便定額小為替証書

※手数料相当額の郵便切手は認められませんのでご注意ください。

②諸証明書交付願

様式は学生生活の葉の巻末、またはシステム WAKABA 「キャンパスライフ→各種届出・申請様式」からダウンロード

③返信用封筒【宛先明記】

封筒の種類・・・1～2通：長形3号、3通以上：角型2号

切手・・・・・・・1通：84円、2通：94円、3通以上：140円

※速達をご希望の場合は260円の切手を追加

[詳細は、「学生生活の葉」学部 P100～P102、大学院 P92～P94 をご参照ください。]

■ 2022 年度第 1 学期 面接授業について ■

面接授業とは、学習センター等で直接講師から指導を受ける授業です。定員に余裕のある科目（空席のある科目）については、面接授業の追加登録が出来ます。空席発表日や追加登録期間は、以下のとおり予定しています。（4月21日以前に開講する科目は追加登録できません。）

◎ 追加登録の流れ

空席発表日：4月16日（土）12：00

空席状況の確認

放送大学ウェブサイトおよび学習センター内の掲示でお知らせします。
4月21日（木）15：00以降は、「システム WAKABA」で空席状況をリアルタイムで確認できます。

受付方法の確認

追加登録の受付は、その科目を開設している学習センター・サテライトスペースで行います。各センターで受付方法が異なりますので、事前にお問い合わせください。

追加登録申請
（授業料納入）

追加登録期間：4月21日（木）～各科目の追加登録受付期限まで

原則として開講日の1週間前まで受付します。（7月開講の授業については7月17日（日）まで）。追加登録完了後の科目変更・取り消しはできません。

面接授業受講

受講が決定したら（科目登録決定通知書を受け取ったら）、当日実施会場へお越しください。指定の教科書、保険（学研災）の加入等については、面接授業時間割表や「システム WAKABA」で必ず事前にご確認ください。

◎ 山口学習センター開設科目の登録方法

窓口での申請	<p><u>4月21日（木）の9:30～10:00までに来所の方を対象に抽選を行い、登録申請の順番を決定します。</u>それ以降は先着順となります。</p> <p>申請に必要なもの（代理人による申請も可）</p> <p>① 学生証 ② 授業料（1科目あたり5,500円）</p>
郵送による申請	<p>①～④を同封して現金書留にて山口学習センターまでお送りください。</p> <p>① 追加登録申請書（面接授業時間割表巻末／ウェブサイトからダウンロードも可） ② 学生証のコピー（申請書に貼付） ③ 授業料（1科目あたり5,500円） ④ 返信用封筒（宛先明記／定形サイズ（長形3号）／84円切手貼付）</p> <p>来所の方を優先しますので、到着日の最後の受付とさせていただきます。 （4月21日（木）以前に届いたものについては、21日到着分と同じ取扱いです。）</p> <p>→登録できた場合：「科目登録決定通知書」を送付します。 →登録できなかった場合：授業料から返送に係る費用を引いた金額を返金します。</p>

2022 年度第 1 学期 山口学習センター開講科目一覧

区分	科目名	定員	日程	講師
基盤科目	レポート・論文の書き方	15	4月16日(土)1~4時限 4月17日(日)1~4時限	鷹岡 亮 (山口大学・教授)
導入科目 生活と福祉	社会福祉をはじめる	20	4月16日(土)1~4時限 4月17日(日)1~4時限	山田 知子 (放送大学・教授)
専門科目 生活と福祉	生涯にわたる食育	15	4月23日(土)1~4時限 4月24日(日)1~4時限	水津 久美子 (山口県立大学・准教授)
専門科目 社会と産業	グローバル経済と 環境問題	20	4月23日(土)1~4時限 4月24日(日)1~4時限	阿部 新 (山口大学・教授)
基盤科目	新・初歩からのパソコン	15	5月7日(土)1~4時限 5月8日(日)1~4時限	北本 卓也 (山口大学・教授)
専門科目 人間と文化	萩藩領の村と町	20	5月7日(土)1~4時限 5月8日(日)1~4時限	森下 徹 (山口大学・教授)
専門科目 自然と環境	身近な地学を学ぶ	20	5月14日(土)1~4時限 5月15日(日)1~4時限	千々和 一豊 (放送大学山口学習センター・ 客員教授)
導入科目 情報	ネットワーク技術とICT	20	5月21日(土)1~4時限 5月22日(日)1~4時限	杉井 学 (山口大学・教授)
専門科目 社会と産業	光合成から始まる エネルギー社会	15	5月21日(土)1~4時限 5月22日(日)1~4時限	高橋 肇 (山口大学大学院・教授)
導入科目 自然と環境	有機化学の 面白さ・不思議さ	20	5月28日(土)1~4時限 5月29日(日)1~4時限	藤井 寛之 (山口大学・准教授)
基盤科目	身の回りにある心理学	20	6月4日(土)1~4時限 6月5日(日)1~4時限	甲原 定房 (山口県立大学・教授)
専門科目 人間と文化	東アジア世界の 様々な文字	15	6月4日(土)1~4時限 6月5日(日)1~4時限	更科 慎一 (山口大学・准教授)
専門科目 人間と文化	歌謡曲とイメージ	20	6月11日(土)1~4時限 6月12日(日)1~4時限	堀家 敬嗣 (山口大学・教授)
基盤科目 外国語	英会話を スキルアップしよう	20	6月25日(土)1~4時限 6月26日(日)1~4時限	セネック・アンドリュウ (山口大学・講師)
専門科目 心理と教育	心理学実験1	14	7月2日(土)1~4時限 7月3日(日)1~4時限	小野 史典(山口大学・准教授) 沖林 洋平(山口大学・准教授)
専門科目 自然と環境	微細藻類の生物学	20	7月9日(土)1~4時限 7月10日(日)1~4時限	三角 修己 (山口大学大学院・准教授)

※『身近な地学を学ぶ』、『微細藻類の生物学』は授業料のほかに学生教育研究災害傷害保険加入が必要です。そのほか、科目によって当日持参するものもありますので、シラバスをご確認ください。

★面接授業情報は、ウェブサイトをご覧ください。

2022 年度第 1 学期 面接授業
<https://mensetsu-cnh.ouj.ac.jp/1/>

- ・追加登録申請書がダウンロードできます。
- ・授業概要や変更等のお知らせを見ることができます。

■ 学生教育研究災害傷害保険（「学研災」）について ■

「学研災」は、加入者が在籍する大学の教育研究活動中に被る事故に対する補償を目的とした保険で、全ての種類の学生が加入することができます。

保険金の支払い対象は、面接授業中や学校行事に参加している間、大学が認めた学生団体活動中、その他大学の施設内にいる間に被った事故等です。加入は任意ですが、面接授業の中には加入者を対象とする科目もありますので、ご確認ください。〔面接授業時間割表の授業概要【その他（特記事項）】参照〕

各学習センターで加入することができますが、保険の効力は加入した日の翌日からとなりますので、ご注意ください。

〔詳細は、「学生生活の葉」学部 P127～P128、大学院 P116～P117 をご参照ください。〕

■ 客員教員の紹介 ■

6名の客員教員が学習の方法、学習の進め方等の相談や放送授業科目の学習支援等に応じます。また、各専門分野でのゼミや公開講座も開催します。相談日等の詳しい日程・内容については決まり次第、山口学習センターウェブサイトや掲示板でお知らせします。

客員教員	専門分野	学習相談日等	
		第1学期	第2学期
 阿部 新 (山口大学教授)	環境経済学	金曜日 9:30～12:30	
 内田 仲 (山口県立大学非常勤講師)	家政学	土曜日 9:30～12:30	
 大石 英史 (宇部フロンティア大学教授)	心理学	火曜日(月2回) 9:30～12:30	水曜日(月2回) 9:30～12:30
 金谷 匡人 (前山口県文書館副館長)	歴史学・地域史	日曜日 9:30～12:30	
 北本 卓也 (山口大学教授)	情報・数学	水曜日 9:30～12:30	木曜日 9:30～12:30
 千々和 一豊 (山口大学名誉教授)	地質学	木曜日 9:30～12:30	火曜日 9:30～12:30

■ 無線 LAN (Wi-Fi) の利用について ■

山口学習センターでは、個人のノートパソコン・タブレット・スマートフォンでも授業を視聴することができます。



<利用方法>

- ① 学園が指定する e ラーニングのサイバーセキュリティ研修（放送大学自己学習サイトの「**情報セキュリティ研修（学生用）**」）を受講して、小テストに合格すると発行される『**修了証**』を印刷するかスマートフォン等の画面に保存します。
- ② 事務室窓口にて『**無線 LAN 利用申請書**』に必要事項を記入して『**修了証**』と一緒に提出します。
- ③ 交付された『**無線 LAN 利用許可書**』に記載の ID 及びパスワードでインターネットに接続します。

■ 駐車場の利用について ■

山口学習センター利用の際は、山口大学の駐車場が利用できます。入構の際に停車を求められた場合は、学生証を提示して放送大学利用の意思表示をしてください。構内は一方通行となっていますので、標識にしたがって通行してください。

[詳細は、「山口学習センター利用の手引き」P40 をご参照ください。]

■ 卒業研究・大学院入学希望者ガイダンスのお知らせ ■



2023 年度「卒業研究」の履修、「大学院（修士全科生）」の入学を希望される方や興味・関心がある方を対象に、ガイダンスを開催します。詳細については山口学習センターウェブサイトおよび掲示等でお知らせします。

開催日：2022 年 6 月 18 日（土）（卒業研究）13:30～14:30 （大学院）14:30～15:30
会場：山口学習センター小講義室

■ 学友同窓会からのご案内 ■

◆ ツリーウォッチングのお知らせ ◆

新型コロナウイルス感染対策によって自粛疲れしていませんか。疲れた心や体を癒すため、短時間ではありませんが、ゆっくり山口大学構内を散策し、新緑を楽しみませんか。

【場 所】山口学習センター集合～山大構内散策

【日 時】2022 年 5 月 8 日（日）小雨決行
11:00～13:00（散策）、13:00～（屋外にて昼食）

【持参物】弁当、飲み物

※マスク着用でご参加願います。



4月～6月のスケジュール

(2022年3月20日現在)

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、スケジュール等変更となる場合があります。変更が生じた場合は、山口学習センターのウェブサイトに掲載しますのでご確認ください。

4月

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

- 1日 放送授業開始
- 5日 オンライン授業開始
- 16日 面接授業空席発表 (12:00～)
- 21日 面接授業科目追加登録受付開始 (～7月17日)
- 29日 閉所日 (昭和の日)
- 30日 閉所日 (特別)



【面接授業】

- 16・17日 レポート・論文の書き方
社会福祉をはじめ
- 23・24日 生涯にわたる食育
グローバル経済と環境問題

5月

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

- 1日 閉所日 (特別)
集中科目履修生 (司書教諭) 出願受付開始
(～5月31日)
- 3日 閉所日 (憲法記念日)
- 4日 閉所日 (みどりの日)
- 5日 閉所日 (こどもの日)
- 9日 通信指導【Web】受付開始 (～5月31日)
- 16日 通信指導【郵送】受付開始 (～5月31日)
- 31日 通信指導提出期限【必着 (Web～17:00)】



【面接授業】

- 7・8日 新・初歩からのパソコン
萩藩領の村と町
- 14・15日 身近な地学を学ぶ
- 21・22日 ネットワーク技術と ICT
光合成から始まるエネルギー社会
- 28・29日 有機化学の面白さ・不思議さ

6月

月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

- 10日 第2学期【第1回】学生募集出願受付開始
(～8月31日)
- 18日 卒業研究・大学院ガイダンス

【面接授業】

- 4・5日 身の回りにおける心理学
東アジア世界の様々な文字
- 11・12日 歌謡曲とイメージ
- 25・26日 英会話をスキルアップしよう



■ 閉所日 ○ 面接授業

編集後記

新入生の皆さま、ご入学おめでとうございます。
皆さまが楽しく有意義な学生生活を送られますよう、職員一同サポートしてまいります。
最後に、お忙しい中、寄稿くださった方々に心より御礼申し上げます。